

## 令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録要旨

### 1. 開催概要

開催日時: 令和7年 11 月 1 日 (土) 午前9時～11時

出席者 学校運営協議会委員 (出席4名欠席2名 過半数の出席)

江原美紀 委員長(後援会長)  
大高千尋 委員(同窓会関係者)  
河原正哉 委員(企業関係者)  
小澤紀子 委員(PTA 会長)

静岡城北高等学校

校 長 渡辺賢一  
副校長 塚本裕之  
教 頭 山田光俊  
事務長 大坪淳子  
総務図書課 吉川契子

主な議題:

校内授業見学  
会長・校長あいさつ  
学校概況報告  
学校の取組と生徒募集に関する意見交換

### 2. 校長報告

#### (1) グローバル教育の推進

・国際交流: 米国ロスアラミトス高校からの生徒 25 名を受け入れ。グローバル科に限らず普通科も含め全校でバディ対応を実施し、授業内外で交流を展開。

・ランドデザインの変更: 「5つの力」の一つを今年度より「英語力」から「グローバル力」へ改称し、異文化理解・国際協調の総合力育成を強化。

・多様な留学生・聴講生の積極的な受入・派遣: 長期(台湾・ラトビア)・短期(フランス・カナダ・ドイツ)の受入れなどにより、日常的に異文化体験がある学習環境を形成。また、約10名の生徒が短期留学を行い、また、長期留学からの帰国生(米国・ハンガリー)が在籍することにより、自然に国際交流が行われる学校文化が醸成。これらを基盤として、普通科とグローバル科を併設する県下唯一の公立高校という強みを活かし、グローバル教育を推進。

## (2) 高校授業料無償化への対応(令和8年度実施)

- ・令和8年度からの授業料無償化により、公立高校の生徒募集への影響が不透明。
- ・公立高校のさらなる魅力化の必要性を踏まえ、本校のスクールミッション・ポリシーに即した「選ばれる学校」づくりの具体策について、委員からの率直な意見を求めた。

## 3. 意見交換の概要

テーマ:「中学生・保護者に『選ばれる学校』になるには?」

### (1) 学校の取組(発信力の強化)

- ・強みの最大化と可視化:グローバル教育等の強みを保護者層に届く手段で継続発信(Instagramに加え、紙媒体/地域広報/学校HPの特集ページ等)。
- ・メディア露出の拡大:区役所・県の記者室への積極的なリリース提供を推奨。地域で「城北高校」の名称露出を増やす重要性を強調。
- ・生徒主体の話題づくり:生徒主導の活動(例:クラウドファンディング等)は拡散性が高く、広報資源として有効との評価。

### (2) 「選ばれる学校」への具体策(案)

#### ア. 生徒主体の発信・活動の強化

- ・生徒が学校の将来を議論するシンポジウムを開催し危機感を共有。生徒主導のSNS広報体制を整備。生徒アンケートで「城北に来てよかったこと」を抽出し強みに転換。

#### イ. 地域連携と伝統の活用

- ・公立の強みである「伝統」を基盤に、幼稚園への英語指導等の地域貢献、介護施設・企業との連携やインターンシップを通じ、地域からの応援と協賛・寄付を検討。

#### ウ. 学習・活動環境の整備

- ・校内掲示を充実し、生徒の頑張りを来校中学生に可視化。昼食提供の充実(弁当業者導入等)や自販機整備、空き教室を交流型スペース(カフェ風)へ改装。少人数学級の検討も魅力化要素。

#### エ. 外部人材の活用と活動の記録

- ・企業・大学生等のサポート受入れ。ボランティア等の活動ポートフォリオを継続的に蓄積する仕組み。

### (3) 総括

- ・授業料無償化時代の募集環境の厳しさを共有し、本校の強みであるグローバル教育を軸に、「生徒主導による内側からの魅力化」と「積極的な外部への発信力強化」の必要性に関して共通認識が得られた。